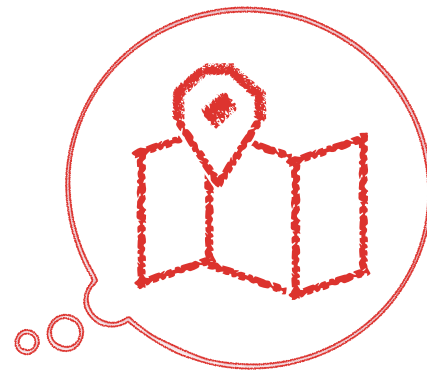


# 認知地図の構成要素

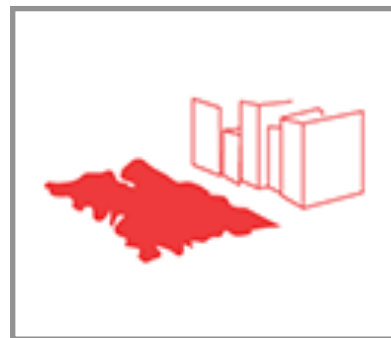
Lynch, K. : The image of the city.(1960) より



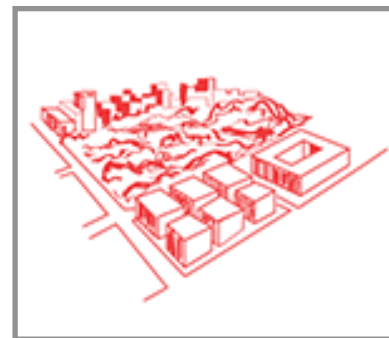
認知地図  
( Cognitive Map )



パス  
( Paths )



エッジ  
( Edges )



ディストリクト  
( Districts )



ノード  
( Nodes )



ランドマーク  
( Landmarks )



Lynch(リンチ)の都市のイメージ調査に関するアンケート調査により、  
認知地図は主に5つの構成要素に分解できるとわかりました。

# 認知地図の構成要素

Lynch, K. : The image of the city.(1960) より



パス  
[ Paths ]

道路

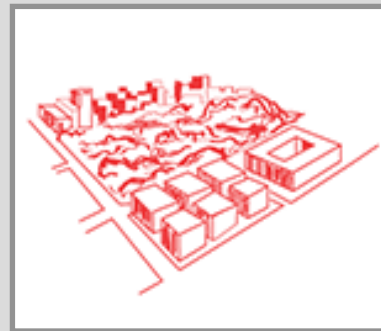
( Ex. 一般道路  
高速道路  
線路 )



エッジ  
[ Edges ]

縁

( Ex. 海岸  
開発地  
崖 )



ディストリクト  
[ Districts ]

地域

( Ex. 公園  
遊園地  
中華街 )



ノード  
[ Nodes ]

接合(集中)点

( Ex. 交差点  
駅  
空港 )



ランドマーク  
[ Landmarks ]

目印

( Ex. 山  
塔  
看板 )

5つ構成要素のイメージは大体こんな感じ。

私たち人間は、広く複雑な実世界をこれらの要素に変換し、地図化していると考えられます。